

星稜 サ・エ・ラ

seiryo ça et là 2021 No. 62

inaokigakuen news letter



今できることを
見つけよう!!

特集

星稜中学校野球部 「耐えて勝つ」野球で全国制覇!!

星稜教職員バトンメッセージ

星稜アレコレ

Amitié Seiryō ～星稜の友～

総合研究所・地域連携センターだより

親業支援コラム

星稜Pick up

星稜サ・エ・ラに関する
アンケート実施中!

詳しくは裏表紙をご覧ください



星稜中学校野球部

「耐えて勝つ」野球で全国制覇!!

～チームのスローガン「人間性も野球も日本一」～



大会を振り返って、
率直な思いから聞かせてください。
田中監督 相手と戦う前にまず目に見えない新型コロナウイルスとの戦いから始まりました。とにかく一人の感染者も出さないよう

今、野球ができる喜びと
先輩達の思いが原動力に



写真左から五田祐也コーチ、田中辰治監督、瀧美泰樹部長

8月25日(水)、長崎県の県営野球場(ビッグスタジアム)において、第38回全日本少年軟式野球大会の決勝戦が行われ、星稜中学校野球部がオセアンJ Boy's(滋賀県)を10で下し優勝しました。昨年、同大会が新型コロナウイルスの影響で中止になり、出場できなかった先輩達の思いを背負って迎えた今大会でした。4年前の準優勝の雪辱も果たし、全国制覇を成し遂げました。4度目の日本一の栄冠を掴んだチームの強さの秘密について、指導者や選手、マネージャーに話を伺いました。



写真左から専徒大和副主将、竹下史紘主将、佐宗翼副主将

長崎までの移動も保護者も含めてチーム全員が安心、安全、健康に細心の注意を払いました。こうした緊張感の中でも選手達は、昨年、出場が決まっていた全国大会が中止になり、悔しむ先輩達の姿を近くで見えてきたので、今年こそ絶対日本一という強い気持ちが一つひとつの勝利に結び付きました。

— 実際、大会の試合展開にも コロナの影響がありましたか。

五田コーチ ● このチームも実践不足だったので、点数が入らないゲーム展開はある程度予想していました。それだけに投手力が勝負の決め手になり、1日100球までという球数制限も考慮しながら複数投手をどう起用するか、ここが一番のポイントでした。4年前、内山壮真くん(現東京ヤクルトスワローズ)がキャプテンだったチームは、もう一人投手が足りず準優勝に終わり、今回はその経験も生かして3人の投手を試合展開に合わせてうまく起用できたのが大きかったです。

— 厳しい状況の中、 日本一になった要因は何でしょう。

渥美部長 ● 全国大会に出場してくるチームはどこもレベルが高く、日頃から野球以外の部分で差をつけることが大切だと選手達に伝えてきました。今年の3年生は学校生活もきちんとしていて、いろいろな先生から「あの子たちを日本一にさせてあげてほしい」という声をいただき、そうした努力と人間的な成長が全国制覇につながったと思っています。

田中監督 ● 本来、横浜(横浜スタジアム)で行われる大会でしたが、一旦中止となったものの、多くの皆様のおかげで舞台を長崎と佐賀に移して開催することができました。被爆地長崎で行われたことにも個人的に意味を感じ、球場の向かいにあった平和公園にも選手達と足を運びました。今、野球ができる喜びを再認識し、自分達がやらなければいけないという皆の思いが打球に乗り移り、優勝を決めた決勝点につながったと思います。

— 最後は気持ちの勝負 チームの声援が後押し

— 準決勝(鹿児島育英館戦)と
決勝(オセアンJBoy's戦)は、
ダブルヘッダーで大変でしたね。

専徒副主将 ● ずっとエースの佐宗に頼ってばかりだったので、自分のピッチングで少しでも佐宗の負担を軽くし、いい流れをチームに持っていきたいと思っていました。それなのに準決勝では不甲斐ない投球で失点し、チームに迷惑をかけてしまいました。決勝ではその悔しさを晴らすピッチングで佐宗にいい形でつなげることができて、良かったと思います。

竹下主将 ● 雨上がりで気温と湿度が上昇する中でのゲームだったので、最後は気力勝負になると皆で覚悟していました。優勝に導い

た決勝点をもぎ取った場面がまさにそうでした。2アウト2塁でライトフライを打ち上げ、誰もがチェンジと思ったものの、皆の声援に後押しされ、2塁ランナーだった自分も最後まで諦めず全力でホームを目指したことが奇跡を呼び込みました。

— 目標の日本一を達成するにあたって、 何を大切にしてきましたか。

佐宗副主将 ● 学校生活では、積極的に授業に参加し、他の生徒の見本となるよう挨拶はもちろん、何でも率先してやるようにしていました。野球では、指導者と黒土のグラウンドと共に日本一の恵まれた環境でできることに感謝しながら、高い志を持った仲間と競い合ったことで日本一を掴み取り、人間性も高めることができたと思います。

竹下主将 ● 部活動自粛中、学校のタブレットを使いながらコーチにバットティングやピッチングなどのアドバイスを求め、一人ひとりが自分の課題を見つけ克服していったことで技術力が向上しました。一つ上の先輩方には、各ポジションについて状況判断や連携プレーなどでの注意点を丁寧に指導してもらい、チーム力が各段にアップしました。先輩達に教えていただいたことは、自分達もしっかり後輩に受け継いでいきたいと思います。

— お互いの思いやりで団結 皆で掴んだ栄冠

— 日本一のチームを支えた
マネージャーの役割も
大きかったのではないですか。

石野マネージャー ● まだまだ選手に飲み物を渡すタイミングで、一人ひとりへの声かけがしっかりできていなかったもので、最後の大会では反省を生かしたいです。それでもどんな時も笑顔忘れず、チームの雰囲気を明る

くすることは、自分なりにできたかなと思っています。

田中マネージャー ● 準決勝のメンバー表を書くのを担当した時は、緊張で手が震えました。選手が気持ち良く練習に打ち込めるよう、トイレのスリッパの向きを揃えていた何気ないことにも、選手から「ありがとう」とお礼を言われ、皆で掴んだ日本一の喜びは本当に格別でした。



写真左から田中里佳マネージャー、石野結凜マネージャー

第38回全日本少年軟式野球大会 星稜中学校野球部の戦績

1回戦 3-0

相陽中(神奈川県)

2回戦 6-0

滝上・興部・西興部中(北海道)

準決勝 8-4

鹿児島育英館中(鹿児島県)

決勝 1-0

オセアンJBoy's(滋賀県)



金沢星稜大学
経済学部 経済学科
本康 宏史 教授

まず興味を持てるよう 身近な話題を取り上げる

私は2013年度から金沢星稜大学で教鞭をとっています。それまでは30年近く、石川県立歴史博物館で学芸員として勤めており、近代の地域史を専門に研究していました。そんな中で星稜大をはじめ外部から非常勤講師などに招かれるようになり、「学生の指導」の面白さに気づいたので。もっと教育や研究に専念したいと考えていたとき、ちょうどご縁があり、星稜に勤めることになりました。

所属は経済学部で、日本経済史を中心に一般教養から専門ゼミまで幅広く担当しています。授業で心掛けているのは、とにかく興味を持ってもらえる内容にすること。ただ教科書を解説するだけのようにはせず、身近なことから話します。例えば歴史学の授業では、まず、星稜がある「御所」という地名の由来を解説します。

ちなみにそれは南北朝の時代に京から赴任した公家が、現在の御所町に屋敷を構えたことが由来です。このように、身近な話題の紹介を通して、どんなことも興味を持てば世界が広がり、生きた知識が身につくことを、間接的にも伝えたいと考えています。

学生自身が成長を実感できる、 やる気を引き出せる指導を。

学生の成長を見て 教育のやりがいを実感



学生が論文執筆する際は、とにかく自分の独自性を加えるよう指導しており、答、聞き取り調査など工夫した取り組みを実施してくれています。

星稜大の学生達は皆、大変ポテンシャルが高いです。正直なところ、併願目的の結果入学した学生もおり、当初から皆が一様に高いモチベーションを持つわけではありません。しかし、そんな学生のやる気を引き出すことこそ、私達教員の役目だと考えています。学びの面白さを丁寧に伝えることで、4年で驚くほど成長してくれます。また皆とても実直なので、同級生同士がお互いを刺激し合うという好循環が生まれています。学生の多くは、卒業時に「星稜で学べてよかった。自分自身の成長を実感できた」と言ってくれ、まさに教員冥利に尽きます。

私自身、研究支援や地域連携など業務内容はいろいろ担わせていただきましたが、中でも今は教育が一番楽しく、やりがいを感じています。社会に出て大きく羽ばたいてくれる人材が育っており、建学の精神である「誠実

にして社会に役立つ人間の育成」が実現できていると自負しています。さらには年々、星稜大の人気向上と共に学生達のレベルも上がっており、私達の期待を超える成長をしてくれて、本当に教え甲斐があります。

そしてこれからは、より地域性を意識した授業を展開していきたいと思っています。今、他学部で「地域学・金沢」「金沢文化演習」といった授業を、外部の専門家も招きながら行っており、学生に大変好評です。このように金沢というブランドを生かし、地域に特化した科目を育てていきたい。それが軌道に乗れば、私の退官後も継続できるでしょうし、「地域に強い星稜」のイメージがより強固になります。ひいては、この授業を通して地域貢献が実現します。

これから私学はますます難しい舵取りを求められます。そんな中でもしっかりと地域に必要とされ、そして共存共栄できる大学となれるよう、尽力していきたいと思っています。



★ ハンドボール部アベック優勝！ インカレ出場へ！

8月27日(金)～29日(日)、いしかわ総合スポーツセンターにおいて、「2021年度北信越学生ハンドボール秋季大会」が行われ、本学ハンドボール部が男女ともにアベック優勝を果たし、11月上旬に山梨県で行われる全国大会への出場を決めました。

ハンドボール部の全国大会出場は、女子は4年ぶり2回目、男子は初出場になります。

【キャプテンからのコメント】

私達の目標である「誠実でたくましく憧れるチーム」を体現できるようインカレまで大切に過ごし、出場したくてもできなかったチームや対戦したチームの思いを汲んで、北信越代表に恥じないプレーができるよう望みたいと思います。



★ オープンキャンパス 星稜LIVE、開幕！

2021年度のオープンキャンパスを実施しました。今年度は、新型コロナウイルス感染症対策の観点から学部ごとに人数制限を設け、完全予約制での実施となりましたが、多くの高校生、保護者の方々にご参加いただきました。

昨年はWEBのみで開催でしたが、今年度は初回の1回目を除き、対面で実施しました。学生企画をはじめ、教員による学部学科紹介、模擬授業、キャンパスツアーなど、学生スタッフが本学の魅力をたくさんお届けしました。

参加者からは「学生さんがとても明るく優しく対応してくれてうれしかった！また行きたいと思いました！」や「学内もきれいで、案内してくれた学生も親切丁寧な対応に好感が持てました。娘が受験したいと言え、二つ返事で受けさせたいと思います(保護者)」などの声も寄せられ、本学を知っていただく良いひと時となりました。

第1回WEB形式当日の配信映像は、本学のYouTube公式チャンネルでも配信しておりますので、是非ご覧ください。



★ 短大 園児から学生 それぞれの願い事

7月上旬、七夕の季節に大学学友会執行部の学生達から、附属星稜幼稚園・星稜こども園の園児向けに多くの笹を送りました。園児達は子どもらしい願い事を短冊へ。

そして、短大キャンパスの学生ホールにも短冊を設置。コロナが一刻も早く終息しますように！
就職内定祈願！
など学生らしい願い事が綴られました。



★ トランポリン部 世界選手権へ！

トランポリン部の3名の学生が、11月にアゼルバイジャンで開催される「世界年齢別トランポリン競技大会」への出場が決まりました。

8月に行われた「全日本学生トランポリン選手権大会」においても上位入賞を果たしたトランポリン部。3年後のパリ五輪出場に向けて、オリンピック3大会連続日本代表がここ星稜から誕生することを期待します。

上野隼輔(人間科学部スポーツ学科3年次)
井関駿太(人間科学部スポーツ学科1年次)
豊後輝道(人間科学部スポーツ学科1年次)



★ 高 難関10大学進学講演会

7月12日(月)、ベネッセコーポレーション・学校カンパニーより森下雄一郎氏をお招きし、高校3年生希望者を対象とした講演会を行いました。「後悔なき航海へ」という題の下、難関10大学を目指す意義、近年の入試動向、夏休み以降の過ごし方について説明していただきました。生徒達は「自主・自立・自律」が求められる夏休み前に、もう一度自分の目標を再確認する良い機会となりました。



★ 高 高校2年生講演会

7月16日(金)、講師に株式会社ABAL代表取締役の尾小山良哉氏をお招きして、VRについての講演会を行いました。同社では、TV-CM・VP・MV・ゲーム等幅広いジャンルでの映像制作を手掛けており、映像の未来について熱く語られていました。講演会前日から24時間限定でVRの体験会も実施され、多くの生徒が参加しました。映像制作の最前線で活躍される先輩に刺激され、進路について考える機会にもなったようです。



★ 高 高校3年生 夏季体育大会

7月16日(金)、高校3年生の夏季体育大会を行いました。行われた競技はサッカー・バレーボール・バスケットボールです。大変熱い中での体育大会となりましたが、生徒達は一つでも多く勝利を掴もうと、クラス一丸となって白熱した戦いを繰り広げていました。またクラスの仲間を懸命に応援する姿勢が印象的で、受験生としてもそれぞれの道を歩む仲間を励まし合いながら自身の夢を掴んでほしいと思いました。



★ 高 高校1年生 薬物乱用防止講演会・性感染症予防講演会

7月16日(金)、稲置講堂にて高校1年生を対象とした薬物乱用防止講演会および性感染症予防講演会を行いました。NPO金沢病院から薬剤師の西上潤氏、浅ノ川総合病院から産婦人科医の明星須晴氏をそれぞれお招きし、大変丁寧な内容で講演頂きました。生徒達にとっても薬物と性についての正しい知識を得て、理解を深める良い機会となりました。



★ 高 高校1・2年 中高一貫理数コース 臨海実習の代替授業を行いました。

8月18日(水)・19日(木)、臨海実習の代替授業として、校内でウニの人工受精と受精卵の観察を行いました。生徒達はウニから卵子が放出される様子や人工受精させた受精卵が卵割を繰り返し動き始める様子を興味深く観察していました。教科書で学習した内容を実体験することで、生物分野への興味や理解がより深まりました。



★ 高 高校2年生 永江美夢さん 第45回ピティナ・ピアノコンペティション 全国大会で銀賞に輝きました。

8月15日(日)・19日(木)に行われた第45回ピティナ・ピアノコンペティション全国大会連弾中級Bで、高校2年生の永江美夢さんが見事銀賞を受賞しました。ピティナ・ピアノコンペティションは世界でも最大規模のピアノコンクールで、今年度は延べ38,518組名が参加しました。永江さんは将来ピアノに関わる仕事をしたいため、今後は志望校合格に向けて勉強に励んでいきたいと抱負を語っていました。



★ 高 2 学期始業式

8月24日(火)、2学期始業式を行いました。新型コロナウイルス感染症対策として校内放送による式となり、鍋谷校長より「何でもないようなことが『幸せ』だと思って、一日一日を大切に、考えて行動してほしい」という話がありました。一人ひとりが考えて行動することで、家族や友人を守ることができ、通常の生活に近づくということを意識しながら、有意義な学校生活を送ってほしいものです。



★ 高 部活動体験

8月29日(日)、野球部、男子サッカー部、剣道部、女子ソフトボール部、空手道部、陸上競技部を対象に部活動体験を行いました。天候にも恵まれ、中学生は新たな舞台への挑戦に向けて、真剣に体験に取り組んでいました。体験に来た中学生に話を聞いてみると、「勉強と部活動の両方に力を注ぎたい。先輩方が楽しそうに高校生活を送っている」と嬉しそうな表情で話している姿が印象的でした。



★ 中高一貫理数コース オンライン英会話が始まりました。

8月27日(金)、海外の講師によるマンツーマンレッスンを受講しました。中学3年時から実施している中高一貫理数コースの生徒達は、今年で2年目となります。終始英語のみのレッスンも、昨年に比べると、随分と発話量も増え、笑顔で会話を楽しむ様子がとても印象的でした。今年は、理系の内容に特化したテーマを扱います。それぞれのレベルに応じたレッスンを通し、さらに英語運用能力に磨きをかけてほしいものです。



★ 高 高校1年生 オンライン授業を行いました。

8月31日(火)、高校1年生を対象に、新型コロナウイルス感染症などによる学校閉鎖など不測の事態に備えることを目的としてオンライン授業を実施しました。[Microsoft Teams] を利用し、生徒達は自宅や寮での初めての授業を体験しました。接続についての不安もありましたが、学校で行った接続テストの甲斐もあり、それぞれの授業を充実した形で終えることができました。



★ 中 2・3年生 オンライン講演会を行いました！

6月26日(土)、北陸大学薬学部教授の大黒徹氏をお招きし、[Microsoft Teams] を用いて、オンライン講演会を行いました。ウイルスと細菌の違いをはじめ、ワクチンと抗ウイルス薬についての詳細など、高校生で学ぶ分野を楽しくわかりやすく教えていただきました。「ウイルスも人間にとって有用に成り得る」ことを教えていただき、ウイルスの大きな可能性を知ることが出来ました。



★ 中 2年生 希望者対象のコミュニケーション研修を行いました！

7月3日(土)・4日(日)、コミュニケーション研修を行いました。研修では、外国人講師をお招きし英語漬けの2日間を過ごしました。生徒達は、過去・現在・未来の自分について英語でプレゼンテーションを行いました。また、オンラインでシンガポール国立大学の学生達とセッションも行いました。2日間を通して英語の必要性を強く感じ、世界情勢を学ぶことで、これまで以上に英語力向上に努める決意を固めました。



★ 県民一斉防災訓練 (シェイクアウト石川)を 実施しました。

7月7日(水)、県民一斉防災訓練(シェイクアウト石川)を実施しました。各教室にて「震度5強の地震が発生した」という想定で行いました。本校では校内放送を合図に、3つの安全行動「しゃがむ、隠れる、じっとする」を迅速にとれるようになることを目的としています。約1分間でしたが、緊張感のある訓練となりました。今後も災害に備える意識を持ち続けていきます。



★ 3年生 観能教室に行ってきました！

7月7日(水)、石川県立能楽堂で行われた第72回観能教室に3年生が参加しました。開演前の能楽についての質問コーナーでは生徒を代表して宇波飛翔くんが主に足運びに関する質問をし、その後、狂言「附子」、能「羽衣」を鑑賞しました。事前学習で能楽について一生懸命学んだ生徒は「表情や動作、音楽などが特徴的でとても面白かった」と、金沢と馴染み深い伝統文化にたつぷりと触れる貴重な時間を過ごすことができました。



★ 1年生 イングリッシュキャンプ 事前学習

7月16日(金)、ひがし茶屋街にてイングリッシュキャンプの事前学習を行いました。9月29日(水)に講師の方に案内するコースを実際に歩き、発表用の資料作成のために写真を撮りました。水分補給をこまめにするなどの熱中症対策をしながら、楽しく取り組むことができました。



★ 2年生学外研修

7月16日(金)、2年生を対象として、金沢市内で学外研修を行いました。ジョブカフェ石川では、職業適性診断や職業疑似体験を通して、様々な職業に関する理解を深めました。また、石川県立歴史博物館では、石川県の歴史と伝統文化について映像や展示品を見て学び、金沢21世紀美術館では、たくさんの独創的な作品を前に圧倒されながらも、思い思いに鑑賞を楽しんでいました。



★ 2学期始業式

8月24日(火)、各教室にて、校内放送による2学期始業式を行いました。鍋谷校長より「これまでの学校生活の中で、当たり前前に思っていたことは、実は当たり前ではなく、とても恵まれていることである」という話がありました。生徒達は真剣なまなざしで聴いており、新学期のスタートに向けて新たな意欲と決意を持って2学期も充実した学期にしてほしいと思います。



★ 野球部 全国大会優勝報告会

8月30日(月)、長崎県で開催された第38回全日本少年軟式野球大会において、見事優勝を果たした野球部の優勝報告会を行いました。日本一となったチームの主将竹下史紘くんは「皆さんの応援のおかげで優勝することが出来ました」と感謝を伝え、9月18日(土)から静岡県で開催される第12回全日本少年春季軟式野球大会(3月開催予定が9月に延期)への全国大会連覇に向けて新たな決意を語っていました。



★ 1年生 オンライン授業を実施しました。

8月31日(火)、オンライン授業を行いました。前回のオンライン授業では、数学・理科・英語の3教科のみでしたが、本日はいつもの時間割に合わせてすべての授業をオンラインで実施しました。前回の経験を生かし、生徒達は「Microsoft Teams」や「メタモジ(授業支援アプリ)」を使いこなし、集中して授業に臨んでいました。急な事態にも対応し、生徒達の学びの場を確保するための取り組みを今後も続けていきます。



中高 6月からの主な部活動成績

【星稜高等学校】

令和3年度石川県高等学校総合体育大会

水泳競技

- 男子50m自由形 ・第3位 冬至 莞大
- 男子100m背泳ぎ ・第2位 冬至 莞大
- 女子100m背泳ぎ ・第2位 中野 りふか
- 女子200mバタフライ ・第2位 中野 りふか
- 女子高飛込 ・第2位 浜坂 萌音
- 女子総合飛込の部 ・第2位

令和3年度北信越高等学校体育大会

弓道競技

- 女子団体 ・第3位 技能優秀賞

ボクシング競技

- 男子Bパートバンタム級 ・優勝 田上 獅道

レスリング競技

- 男子個人対抗戦 55kg級 ・第2位 木野 敬士
- 男子個人対抗戦 125kg級 ・第1位 山本 無量

陸上競技

- 男子110mH ・第2位 上出 隼司
- 男子400mH ・第2位 増井 幸輝
- 女子800m ・第1位 谷口 ゆき
- 女子1500m ・第3位 谷口 ゆき
- 女子走幅跳 ・第1位 大塚 葉月
- 女子走幅跳 ・第2位 吉尾 彩
- 女子三段跳 ・第1位 大塚 葉月
- 女子棒高跳 ・第3位 清水 琴美
- 女子フィールド ・第2位

ソフトボール競技

- 男子の部 ・第2位
- 女子の部 ・第3位

サッカー競技

- 男子 ・第3位

水泳競技

- 男子100m背泳ぎ ・第3位 冬至 莞大
- 女子高飛込 ・第2位 浜坂 萌音
- 女子飛板飛込 ・第3位 浜坂 萌音
- 飛込女子総合 ・第2位 浜坂 萌音

令和3年度全国高等学校総合体育大会

陸上競技

- 女子三段跳 ・第7位 大塚 葉月

サッカー競技

- 男子 ・第3位

第46回全国高等学校トランポリン競技選手権大会

団体競技

- 男子の部 ・第1位 美田 靖文、都竹 奏翔、
中山 偉斗、今本 修成
- 女子の部 ・第2位 木村 心春、澤田 守杏、
池下 かの子、吉村 紅子

シンクロナイズド競技

- 男子の部 ・第1位 美田 靖文、都竹 奏翔
- 女子の部 ・第3位 池下 かの子、吉村 紅子

個人競技

- 男子の部 ・第3位 金沢 成哉
- 女子の部 ・第2位 澤田 守杏

第65回北陸陸上競技選手権大会

- 共通男子5000mW ・第1位 櫻井 建太
- 共通女子400mH ・第2位 森田 愛梨
- 共通女子800m ・第3位 加藤 直
- 共通女子4×100mR ・第2位 小早川 心暖、酢谷 羽瑠菜、
吉尾 彩、明正 佑奈
- 共通女子4×400mR ・第2位 酢谷 羽瑠菜、谷口 ゆき、
大塚 葉月、森田 愛梨

第67回石川県高等学校新人水泳競技大会

- 男子50mバタフライ ・第1位 東度 毅
- 男子100mバタフライ ・第2位 東度 毅
- 女子50m自由形 ・第2位 三秋 怜子

第69回石川県吹奏楽コンクール

- フリー部門 ・優秀賞
- 高校A部門 ・銀賞

第45回全国高等学校総合文化祭

囲碁部門

- 団体戦(県チーム) ・第4位 本澤 晴菜、田中 悠大

第41回石川県高等学校総合文化祭

第73回演劇合同発表会 ・最優秀賞

第88回NHK全国学校音楽コンクール石川県コンクール

・銅賞

第63回石川県合唱コンクール

- 高等学校部門A ・金賞

第29回石川県高等学校声楽コンクール

・第5位 宮下 紗依

【星稜中学校】

加賀地区中学校体育大会軟式野球競技

・第1位

第38回全日本少年軟式野球大会北信越ブロック予選会

・優勝

第38回全日本少年軟式野球大会

・優勝

第38回石川県ジュニアトランポリン競技選手権大会

- ハイクラス中学生男子 ・第2位 番所 駿斗
- ハイクラス中学生女子 ・第3位 大藤 彩

中部ジュニアゴルフ選手権競技北陸地区予選

・第3位 石川 大晴



☆芸術家派遣事業・ あーとぐみWS☆

「子ども達が創造した国と世界」をテーマに、年長児が9月から全5回のあーとぐみワークショップに参加しています。

4人1組のグループでそれぞれ考えた世界の家や衣装を作ったり、独自の挨拶や踊りを考えるといった創造力が無限に広がる体験です。(公財) 石川県国際交流協会よりお借りした民族衣装も見ることができました。

オリンピック遊びで経験したことをふまえ、このWSでさらに世界の文化にも関心が深まりそうです。



☆プール遊び☆

今年度は一度に入る人数を減らし、コロナウイルス感染防止対策をとりながら7月にプール遊びを再開しました。水深30cmから80cmまでの床可動式温水プールで、年齢や活動に合わせて設定することができました。

年長児はダイナミックに、年少・年中児は初めてのプールにドキドキワクワクしながら水の中で体を動かす心地よさを感じ楽しんでました。



☆お料理する前に☆

金時草の葉を取ったり、とうもろこしの皮むきをしたり、給食になる前の野菜に触れて形や匂いを感じながら、子ども達の年齢に合わせた「下ごしらえ」のお手伝いをしてもらうことがあります。

自分達がお手伝いしたものが調理されて給食となり、皆で食べることによって、食材がより身近に感じられ、食べることへの興味につながっています。



☆絵本☆

子ども達は絵本が大好きです。

1人でじっくりと見たり、保育教諭に読んでもらったりしながら想像力を膨らませ、絵本の世界に浸ります。友達とイメージを共有しながら楽しむこともあります。

色使いの美しい絵本、言葉の面白さに引き込まれる絵本、不思議がいっぱい詰まった絵本など、今年も星稜基金から新たに45冊の絵本を購入しました。

好きな絵本を好きなだけ見て豊かな心が育ってほしいと思います。



園地
星稜泉野幼稚園
☆夏季北陸フラグ
フットボール大会での
チャリデーイング☆

夏季北陸フラグフットボール大会が金沢市宮球場で行われ、その時の応援演技イベントに星稜泉野幼稚園のチアガール&チアボーイ達が出場しました。暑い中、ダンスもキレッキレ、「シェキ、シェキ！」の声も高らかな泉野ガールズ&ボーイズ、「ZIND」の曲などに合わせた可愛い姿に保護者からも大拍手。二重にも三重にも可愛さがあふれ出した子ども達でした。



☆夏はセミ取り☆

園庭から「みーんみーん」「ジージー」と鳴き声が聞こえると「ああ、夏が来たなあ」と感じます。初めてセミを見る子ども達は「きやあー」と言ってる怖がり、恐る恐る近づいたり、全く怖がる様子もなくセミを触ったり様々な反応を見せてくれました。年長児は「ZOOPE」の図鑑で調べたりしていました。今年は園庭で400匹以上のセミの抜け殻を見つけました。ということは、400匹以上のセミが誕生したことになりますね。お迎えに来られる保護者の方もたくさんセミの抜け殻とセミに驚いていました。



☆夏のお楽しみ会☆

夏にお楽しみ会を企画しましたが、コロナ感染者が増えてきたため、9月に延期しました。金魚・虫すくい、ボール投げ、ガチャポンなどを行う予定でしたが、密を避け、規模を小さくして学年別に楽しみました。ショッピングモールのガチャポンよりも輝く手作りのガチャポン。「何が出るかな？」とワクワクしていた子ども達でした。キラキラ輝く金魚や虫、光る時計や花火などお土産もいっぱい。夏祭りを味わった一日でした。



☆朝顔で色水遊び☆

昨年の年長児から受け継いだ朝顔の種を春に植え、夏になると園庭に色とりどりの朝顔が咲きました。朝顔の花をナイロン袋に入れ、手でもみもみすると素敵な色水ができました。もみもみするだけでも楽しいのですが、その色水を使って絵を描きました。素敵なアート作品ができました。



北國銀行で活躍する 「星稜」の卒業生



本店営業部 部長代理
福与 佑樹
(星稜高等学校 第42期卒)

地域を知り、学び、 発展に貢献できるように。

私は、平成18年に星稜高校を卒業後、東京の大学を経て北國銀行に入行しました。入行して11年目となりますが、石川県内だけでなく、富山県での勤務を経て現在は本店営業部に配属され、法人営業を行っております。

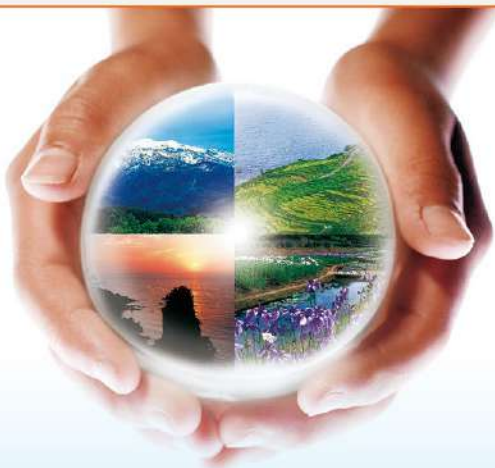
個人的な銀行業務の楽しさは「地域を知ること」にあります。私はこれまで6店舗所属してきましたが、店舗ごとに来店されるお客様の色が異なり、根付いている文化も異なっていました。「何故この地域はこの産業が盛んになったのか？」などを疑問に持ちながらお客様と接することで、その

地域についてより深く知ることが出来ます。これは、様々な業態の方々と接点がある銀行特有のメリットだと思います。そのメリットを生かし、何か地域貢献に寄与出来ないかを常に考えております。

現在、新型コロナウイルス感染拡大等により地域経済は大きな影響を受けております。社会構造の変化が急速に進む中、お客様の価値観や課題はこれまで以上に多様化すると考えられます。そのようなことに対応するため、北國銀行は持株会社体制に移行することとなりました。持株会社体制移行により、各事業会社が幅広く地域発展のために活動していければと思っております。

学生時代のことを振り返ると部活動のことを一番に思い出します。当時野球部に所属しており、毎日甲子園出場に向けて練習していたことが今の私の礎となっております。「耐えて勝つ」は今でも私の座右の銘です。

星稜高校は何事も一生懸命頑張れる空間が整っていると思います。施設の充実もそうですが、特に先生方が生徒に対して、親身に相談に乗っていらした印象があります。コロナ禍という大変厳しい環境ではありますが、この中で頑張ってきた経験は必ず今後の人生に生きてくると思います。末筆ではございますが、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。



一緒に守りたい、今日があります。
ともに創りたい、未来があります。

ふるさとの今日を、明日につないでいく。

地域のみなさと、未来をひらいていく。

ふるさとに暮らす人々が、

今日も、明日も笑顔で過ごすことができるように。

北國銀行は、これまでこれからも

地域とともに歩む銀行であり続けます。

総合研究所・ 地域連携センター だより

地域連携センター

さまざまな研究、実践活動を通して
地域とのつながりを強めるとともに、
学生の課題解決能力の向上を目指します。

〈活動中の主な事業〉

地域子ども達と図書館をつなぐ

―金沢海みらい図書館「おはなしの森」―

こどもフィールド演習(直江フィールド)

「おはなしの森」は、2012(平成24)年から続けており、2017(平成29)年12月17日に100回目を迎え、今回132回目の開催です。毎回、読み聞かせや絵本にまつわるゲームやイベントを行うだけでなく、図書館の壁面を装飾して、子ども達が絵本の世界を視覚的にも楽しめるように工夫してきました。昨年度からは新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの制約がありますが、できることを工夫し、関係各所との調整を行って活動を続けています。昨年度は絵本にまつわる壁面装飾およびYouTubeでの発信を行い、今年度は壁面装飾に加えてぬりえを用意し、子ども達に家でも楽しんでもらえるようにしています。



壁面装飾の様子
7月のテーマ「七夕」



「どんな動物が隠れているかな?」壁面装飾を楽しむ子ども達
8月のテーマ「じぶんだけのいろ」

コロナ禍の地元飲食店を学生の目線で応援

手塚ゼミナール カフェ・ファッショニングチーム

手塚ゼミナールでは、地元の農家や企業を応援するべく、グループに分かれて活動しています。加賀野菜や能登牛の販促活動と共に、地元のカフェや喫茶店の経営者を支援しています。学生自らが地元のカフェ経営者に直接アポイントを取り、金沢の地で店を営んでいることの戦略スタイルや消費者の実態など、経営者の生の声を取材し、学生自ら得た貴重なデータを分析しています。地元での起業の魅力を、今後も探究していきます。



オトナのカタミ

1985年の子育て法改定がもたらしたもの



大久保 英哲
(金沢星稜大学女子短期大学部学長)



① 子育てはいつの時代も大変なのですが...

いつの時代も子育ては大変。子どもや若者は親や大人の思うようにいかないものです。1970年代には、学校紛争、社会的反抗などが問題になりました。1980年代からは、少子相が変化します。小学生で授業中の立ち歩き、注意をきかない、給食のパンを投げ、掃除をしないなどの「奇行」が報告され始めました。1995〜97年には「学級崩壊」「小一プロブレム」、1997年には「たまごつち目当ての強盗」など少年単純強盗犯の増加、中学生でも「キレる子」「中一プロブレム」が問題となり、1998年栃木県で中1の男子生徒が教師を刺殺するというショッキングなニュースも報道されました。また高校生でも「不登校・うつ・自殺」など自己空間への引きこもりなどが報告され、2000年代には大学生にも拡大、さらに成人にもパラサイトシングルや振り込め詐欺などの問題が頻発しています。しかもその根本原因がわからず、保育・教育現場は対応に悲観苦悶しています。

一見バラバラに見えるこの現象を「1980年代半ば以後に生まれた子ども達の先頭集団の波が到達したところで生じた教育問題」と見ると、違った様相が浮かんできます。

② 1985年「母子健康手帳」子育て法の大転換

1980年代半ば、何があったのでしょうか。当時東工大院生で子育てをしながら研究をしていた品田知美氏は、自身の子育てのあまりの大変さに驚くとともに疑問を抱き、日本の公的育児書というべき母子健康手帳副読本「赤ちゃん」ほかを精査した結果、1985年に子育ての方法が大きく改定されていた事実を突き止めました(文献参照)。一言で言えば、母親が子どもの欲求に寄り添うことが当然視されるように変わり、母子密着型子育てに陥って、まじめな母親ほど疲弊してしまうというのです。具体例を見てみましょう。

① 1976年版(改定前)

1976年版(改定前)は「添い寝の癖は、母子ともに安眠できませんから止めましょう。一人で寝る癖をつけると、目が覚めても一人でよく遊んでいるようになります」「大体決まった時間に十分お乳を飲ませましょう」「子どもが泣いたら、よく原因を確かめましょう。泣いたからといってすぐお乳を与えたり、抱いたり、おぶったりするのはよくないことです」というものでした。

② 1985年版(改定版)

ところが、1985年版(改定版)以後は「1歳ころになつて赤ちゃんが夜泣きなどしてな

かなか寝付かない時、お母さんが一緒に寝てあげると安心して寝付くことがあります。お母さんが昼間一緒にいない場合には特にスキンシップのよい機会になるでしょう」と、一転添い寝を推奨しました。これはほんの一例です。

赤ちゃんは、生後から巨大な学びをします。泣けば、大人が駆けつけて「自分の欲求が充足される」ことも学びます。「泣き癖」「抱き癖」を付けることは、子どもの成長にとっても、親にとってもよくないとされてきたのが改定前の子育て法でした。また1歳を過ぎたら「断乳」と言われていたのが、これも自然に乳離れをするまで待てばよいという「卒乳」に代わり、2〜3歳くらいまで授乳する例も見られるようになりました。いくら育メンでも母乳は与えられませんか、これではお母さんはたまったものではありません。品田知美氏が「親の主体性を取り戻す子育て」の必要性を訴えたのもよくわかります。しかも子どもの側も自分の思いがかなわないことに耐性がなく、パニックになります。「我慢する」習慣が身に付いていないからです。

③ 子育て法のさらなる見直し

こうした赤ちゃんの成長に合わせて「保育園保育指針」改定(1990年)、「幼稚園教育要領」改定(1989年)、「小学校学習指導要

領」改定(1993年)など保育・教育法の改定が順次進行します。それまでの「教育的保育」から、子どもの自主的な遊びを尊重しながら発達を促すという保育、いわゆる「自由保育」へのシフトです。学校でも「その子らしさを大切に、自主性、個性を大切にする。子どもの思いをかなえ、意欲・関心・態度を評価する」新自由主義教育観が導入されました。中学・高校、さらに大学に至っても基本的にこの人間観と教育方法は継承されます。もちろんマイナスイメージではないのですが...

生物界の普遍的原則は、親世代は子世代よりも先に死ぬということです。したがって、子育てで重要なことは、親が亡くなっても独り立ちして生きていく、自立の能力を身に付けさせることです。1985年の子育て法の転換は、もちろん良かれと思って改定されたのですが、結果的に子どもが自立する力を阻害し、合わせて子育ての負担を母親に集中させる作用を生み出したのでした。これには見直しが必要です。

2002〜06年某大学附属幼稚園園長を経験した、私の実感的かつ仮説的幼児教育論です。しかし、エビデンスの提示がなかなか困難なため、未だに成文化には至っておりません。ご批判ご叱正をお願いいたします。

参考文献：品田知美「子育て法 革命―親の主体性を取り戻す」中公新書(2004)

新種の可能性があるアンモナイトの化石を発見!

星稜高校3年 科学部(OB) 片岡 優一郎さん

今年7月に福井県立恐竜博物館が新種として発表したアンモナイト「アマルチウス・オリエンタリス」。1億8500万年前の前期ジュラ紀に生息していたと考えられています。2019年に科学部の片岡さんが発見した化石が、この新種である可能性があることが分かりました。その発見経緯などについて、片岡さんと科学部顧問の涌島英揮先生に話を伺いました。

固定観念のない目だからこそ見つけれられた快挙の化石

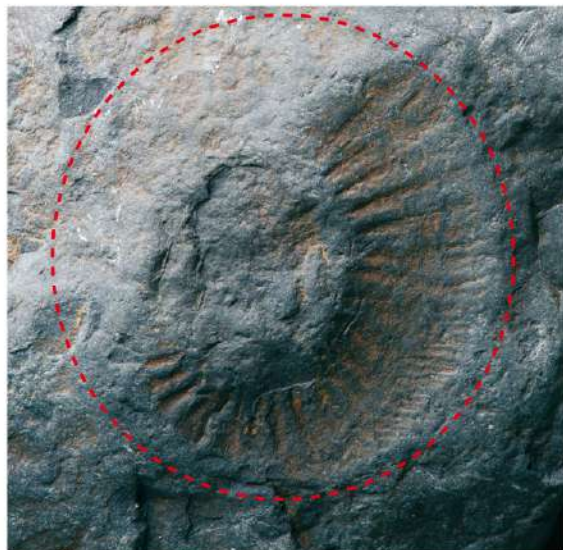
片岡さんがこの化石を発見したのは2019年、中生代植物研究会が主催する発掘調査体験に参加したときです。「それまで化石発掘は小さい頃に1回行ったくらいでしたが、興味があったのでメンバーに加えてもらいました」(片岡さん)。2泊3日の日程で富山・新潟の県境を流れる境川下流域に赴き、発掘にあたっては事前に恐竜博物館の学芸員の方から、化石の見分け方の講習を受け、現場へ。一般的なイメージの化石発掘とは違い、地層を掘るのではなく、河原から化石があると考えられる石を探すという作業でした。

そんな中で、片岡さんは河原では珍しい巨大な石を見つけ、しかもその表面にはアンモナイトと思われる化石がクッキリ。「思わず大声を出した」と言います。部員や涌島先生だけでなく参加していた学者の先生や朝日町役場の職員が集まり、現場は大騒ぎだったそうです。

「通常、境川下流域で見つかるアンモナイトは数cm程度の大きさと考えられ、私をはじめ研究会に所属する先生方など、中生代の植物化石に知識がある人は、固定観念を持ってしまい、こんな大きさは絶対にはないと考えがちです。事実、参加されていた学者の方も、この化石のすぐそばを歩いていたものの全く気づかなかったとのことで、片岡くんの純粋な目だからこそ、この発見に結びついたと言えます」と涌島先生も絶賛します。



片岡さんはすでに科学部を引退していますが、発見した化石の調査には随時協力しているそうです。



片岡さんが発見した化石。アンモナイトの模様がしっかりと確認できます。なんと60kg近くあるそうです。

化石発見を通してさまざまなことを学ぶ

さらにその場に立ち会わせた恐竜博物館の学芸員の方が、「現在調査中で、新種と思われるアンモナイトとそっくり」と発言したため、その新種発表を待つこととなり、現場に立ち会った人だけのトップシークレットとなりました。今年7月になり、恐竜博物館が正式に新種として発表したことにより、片岡さんが発見した化石も新種の可能性があること公表可能になったのです。

まだ新種とは断定できないうえ、化石の鑑定は通常でも5〜6年は必要とされます。涌島先生は「せっかくの機会ですので、これから科学部で時間をかけて化石に含まれる岩石の成分を調査し、年代を鑑定する予定です」と話しており、さらにその後恐竜博物館での再鑑定を経て、ようやく発表できる見込みです。

「新種として発表されるころには自分は社会人になっているでしょうが、今回の発見を通して、身近なところにも気を配り、目を配る大切さを学びました。これはこれからの学業・仕事でずっと役立つことだと思います。今は大学で情報工学を学びたいと考えており、そこでAIの技術発展に貢献できれば、将来化石鑑定に役立つ技術につながるかもしれません。今回学んだことを生かし、またいろいろな学問はつながっていることを意識しながら、これからも学業に励んでいきます」と片岡さんは展望を語ってくれました。



3年の片岡優一郎さん(左)と科学部顧問の涌島英揮先生



行事スケジュール (10月～12月)

※変更する場合があります。

金沢星稜大学

10	5日(火)	学園創立記念日(通常授業)
	9日(土)・23日(土)	補講日
11	4日(木)	10/5の振替休業日
	5日(金)	流星祭Week(休講)
	6日(土)・7日(日)	第20回流星祭
	8日(月)	流星祭Week(休講)
	13日(土)・27日(土)	補講日
	20日(土)	学校推薦型選抜入試
	23日(火)・24日(水)	クォーター調整日(通常授業)
12	4日(土)	クォーター調整日
	11日(土)・25日(土)	総合型選抜入試
	16日(木)	補講日
	29日(水)～31日(金)	【経済・人文】卒研発表会 【人間】フィールド成果報告会 年末年始休講期間

金沢星稜大学女子短期大学部

10	5日(火)	学園創立記念日(通常授業)
	9日(土)・23日(土)	補講日
11	4日(木)	10/5の振替休業日
	5日(金)	流星祭Week(休講)
	6日(土)・7日(日)	第20回流星祭
	8日(月)	流星祭Week(休講)
	13日(土)・27日(土)	補講日
	20日(土)	学校推薦型選抜入試
	23日(火)・24日(水)	クォーター調整日(通常授業)
12	4日(土)	クォーター調整日
	11日(土)・25日(土)	総合型選抜入試
	29日(水)～31日(金)	補講日 年末年始休講期間

星稜高等学校

10	5日(火)	学園創立記念日
	11日(月)～14日(木)	中間試験
	16日(土)	ヒストリカルツアー
	20日(水)	1,2年、3年P進路研究
	23日(土)	学校説明会・2年保護者対象説明会
11	1日(月)・2日(火)	教育ウィーク(授業公開)
	4日(木)・5日(金)	学校説明会
	6日(土)・20日(土)	期末試験
12	20日(月)・21日(火)	1,2年体育大会
	21日(火)	終業式
	22日(水)～24日(金)	保護者懇談会
	22日(水)～25日(土)	2年Aエンバowerメントプログラム

星稜中学校

10	2日(土)	土曜スクール
	5日(火)	学園創立記念日
	13日(水)・14日(木)	中間試験
	16日(土)	学校説明会
11	1日(月)・2日(火)	教育ウィーク(授業参観)
	4日(木)・5日(金)	教育ウィーク(授業公開)
	13日(土)	学校見学会
	20日(土)	土曜スクール
	30日(火)～12月2日(木)	期末試験
12	3日(金)	体育大会
	11日(土)	土曜スクール
	18日(土)	合唱コンクール
	20日(月)	学内・学外研修
	21日(火)	終業式
	22日(水)～24日(金)	保護者懇談会

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

10	2日(土)	運動会(年中・年長)
	5日(火)	学園創立記念日/90周年前年度祭プチコンサート
	6日(水)	年少組親子運動遊び(ばんだ組)
	7日(木)	年少組親子運動遊び(りす組)
	8日(金)	年少組親子運動遊び(うさぎ組)
	9日(土)	運動会予備日
	12日(火)	芋掘り体験
	13日(水)	誕生会(0歳・1歳)
	20日(水)	誕生会(2歳・満3歳・年少)
	26日(火)	避難訓練
	27日(水)	内科健診・誕生会(年中・年長)
11	6日(土)	秋祭り
	10日(水)	歯科検診・誕生会(0歳・1歳)
	17日(水)	誕生会(2歳・満3歳・年少)
	24日(水)	誕生会(年中・年長)
	25日(木)	避難訓練
	26日(金)	リモート参観(年長)
12	8日(水)	誕生会(0歳・1歳)
	15日(水)	誕生会(2歳・満3歳・年少)
	18日(土)	クリスマス表現会
	22日(水)	誕生会(年中・年長)
	23日(木)	避難訓練
	24日(金)	終業式

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

10	2日(土)	園見学会
	5日(火)	学園創立記念日
	6日(水)	小児科健診
	7日(木)	いもほり(年中)
	8日(金)	いもほり(年長)
	12日(火)	いもほり予備日
	15日(金)	誕生会(年中)
	19日(火)	誕生会(年少)
	20日(水)	小児科健診
	21日(木)	シルエット劇(年長)
	22日(金)	避難訓練
	26日(火)	運動会(学年別)
	28日(木)	誕生会(年長)
	29日(金)	リトミック(年少)
11	5日(金)	歯科検診
	9日(火)	太鼓(年中)
	12日(金)	リトミック(年少)
	15日(月)～19日(金)	紙漉ぎ体験(年長)
	24日(水)	避難訓練
	25日(木)	誕生会(年長)
	26日(金)	誕生会(年中)
	30日(火)	誕生会(年少)
12	15日(水)	小さな発表会(年少)
	16日(木)	小さな発表会(年中)
	17日(金)	小さな発表会(年長)
	20日(月)	避難訓練
	21日(火)	誕生会(年長)
	22日(水)	誕生会(年中)
	23日(木)	誕生会(年少)
	24日(金)	サンタの日、終業式

星稜サ・エ・ラに関するアンケートへのご協力をお願い 締切 11/30

いつも『星稜サ・エ・ラ』をご愛読いただき、誠にありがとうございます。毎号の内容に関する皆様からのご意見を「WEBアンケートフォーム」を通じて頂戴し、本誌の内容改善に努めてまいります。ご協力いただいた方の中から、抽選で20名様にQUOカード(500円分)をプレゼント。下記QRコードから、アンケートへの回答をお願いいたします。



抽選で20名様に
QUOカードをプレゼント!

Since 1932

星稜

誠実にして社会に役立つ人間の育成

学校法人 稲置学園

金沢星稜大学・金沢星稜大学女子短期大学部

石川県金沢市御所町10番地1

TEL 076-253-3924 (代表)

(大 学) <http://www.seiryu-u.ac.jp/u/>(短 大) <http://www.seiryu-u.ac.jp/c/>

星稜高等学校・星稜中学校

石川県金沢市小坂町南206番地

TEL 076-252-2237 (代表)

<http://www.seiryu-hs.jp>

金沢星稜大学附属星稜幼稚園

石川県金沢市御所町南27番地

TEL 076-252-5057 (代表)

<http://kinder.seiryu.jp/seiryu/>

金沢星稜大学附属星稜泉野幼稚園

石川県金沢市泉野町6丁目17番30号

TEL 076-244-5636 (代表)

<http://kinder.seiryu.jp/zumino/>